

# 山田みやこの活動報告

平成30年10月31日(水)

## 連合栃木議員懇談会主催 第2回地域交流会・政策研究会

### 〈地域交流会〉

#### 1)産後ケアについて

講師 大草 尚 医療法人帯経会 理事長

妊婦の自殺や乳幼児への虐待など“うつ”が原因という現状、産後ケアが注目される背景として里帰り出産の減少、出産入院期間の短縮がある。

そのためさくら産後院を平成29年4月より開設した。対象は産後2か月未満で家族から家事や育児の援助が受けられない、心身の不調や育児不安が強いなど。利用料金はデイケア10,000円、一泊二日30,000円。だが行政からの補助を受ければ個人負担はデイケア2,000円・一泊二日6,000円になる。

今後の課題は行政へ支援対象者の拡大を要請、スムーズな連携、メンタルヘルスに対し保健師・助産師・看護師の知識と実践を深めること。

#### 2)「さくら市ミュージアム」

荒川 寛方記念館「第73回春の院展」鑑賞

名品ぞろいの同人作品に加え、受賞作品や本県ゆかりの作家作品など90点の豪華展示がされていた。

大木学芸員の解説で館内の案内を受けた。



### 〈県政交流会〉

開催地のさくら市における課題について、地域議員 船山 幸雄県議より塩谷町の放射性廃棄物処理の経過と現状の報告。その後、県政報告という事で各常任委員会の報告。さらに参加市町の議員より取り組み課題報告を行った。

